

診療科目 ● 泌尿器科学

プログラム責任者：矢尾 正祐

附属病院	
主任教授	矢尾 正祐
准教授	中井川 昇、近藤 慶一、槇山 和秀
助教	林 成彦、蓮見 壽史、横溝 由美子、逢坂 公人
附属市民総合医療センター	
准教授	上村 博司（泌尿器・腎移植科部長）、三好 康秀
講師	湯村 寧（生殖医療センター部長）、寺西 淳一
助教	服部 裕介

本プログラムの特徴

横浜市立大学泌尿器科（泌尿器病態学・泌尿器分子遺伝学）では神奈川県下の多くの地域中核病院等との協力関係の下で、泌尿器科専門医の育成と生涯教育を行っています。本プログラムはその一環として、前期研修終了後、泌尿器科専門医を目指す先生方を対象に大学附属2病院及び日本泌尿器科学会の認定する研修施設にて研修を行うものです。研修終了時には単に資格取得の条件を満たすだけでなく、泌尿器科専門医としての基本的な技術、経験、知識を十分に身につけることを目標としています。研修医のみなさんに充実した研修期間を過ごしてもらうために、毎年1月に大学のプログラム指導責任者をはじめ、関連の研修施設の診療部長によって構成される研修委員会が一人一人の研修医の研修実績の検討および評価を行うと同時に本人の希望を確認しながら、必要に応じて個別に研修方法の改善、修正を行なっています。

目 標

3年間の研修の間に後期研修の認定を目標とし、引き続き日本泌尿器科学会専門医取得はもちろんのこと、泌尿器科専門医としての基本的な技術、経験、知識を習得すると共に、専門性にとらわれない幅広い知識と医療人としての人格を身につけた優れた泌尿器科専門医を養成することを目標としています。

目標とする学会認定専門資格

日本泌尿器科学会専門医

日本がん治療認定医

主な協力病院

神奈川県立がんセンター、横浜市立市民病院、横浜市立みなと赤十字病院、横浜南共済病院、横浜栄共済病院、国際親善総合病院、川崎市立井田病院、横須賀共済病院、藤沢市民病院、茅ヶ崎市立病院、大和市立病院、神奈川県立足柄上病院、小田原市立病院

診療科のホームページ URL	担当者・連絡先
http://www-user.yokohama-cu.ac.jp/~urology/	槇山 和秀・中井川 昇 urology@yokohama-cu.ac.jp

診療科の実績

2病院の平成26年の主な手術件数は以下の通りです。
(附属病院における件数/センター病院における件数カッコ内は腹腔鏡下手術の件数です)

副腎摘出術 7 (7) /16 (11) 腎癌手術 51 (37) /47 (34) 腎盂尿管癌手術 12 (12) /12 (11) 腎盂形成術 11 (11) /2 (2) 膀胱全摘術+尿路変更術 7 (6) /8 (0) 前立腺全摘術 46 (46うちロボット32) /23 (0) 前立腺小線源治療 126/0 経尿道的膀胱腫瘍切除術 105/136 高位精巣摘除術 7/5 精巣生検 (TESEを含む) 0/37 腎移植 0/13 小児手術 0/47 体外衝撃波結石破砕術 16/0

附属病院及びセンター病院どちらでも泌尿器科専門医に必要な基本的な手技、知識は十分に習得できますが、附属病院では前立腺癌に対する小線源治療やロボット支援型腹腔鏡下手術、女性泌尿器科を、センター病院では腎移植や小児手術、男性不妊といった特化した領域があるといった特徴があります。
もちろん、研修期間中には勤務病院に関わらず、それぞれの病院の特色ある専門領域を研修、見学することが可能です。

指導医から一言

泌尿器科という診療科は扱う臓器は腎・尿路系、男性生殖器系、副腎などと広く、また、悪性腫瘍、内分泌疾患、神経疾患と扱う疾患は様々です。そのため、当教室ではそれぞれのスタッフが泌尿器科専門医としての技能の習得を目指すと共に、自分自身が興味を持つ領域でのさらなる研鑽に励んでいます。それを支えているのは、それぞれの医師の個性や好奇心、熱意を大切に「自由でのびのびとした」当教室の伝統です。将来、こんなことをしてみたい、あんなことをしてみたい、という希望が叶う職場環境で、是非みなさんの個性を発揮してみてください。

シニアレジデントからのメッセージ

当泌尿器科は大学病院・関連施設を含め、多種多様な症例を経験できます。またシニアレジデント各々の目標に応じ、やりたいことに関してスタッフの先生方が応援してくださる雰囲気があります。手術から研究まで、知識と経験の豊富な先生方から細かく指導を受けることができ、安心して研修できると思います。教育を受ける側として、我々シニアレジデントの疑問やできないことを快く指導してくださる環境が整っているのをいつも感じています。泌尿器科に興味のある方はぜひ一度見学にいらしてください。